

エリヤ書 梗概 (Dr. J. P. Hyatt, ガンダービルト大神学部教授)		A. 帯の響 (1-11)	A. 象徴的演技 (XIX: 1-15)
I. 表題 (i: 1-3)	5. 帯の響 (26-29)	B. 酒壺の響 (12-14)	B. エリヤの投獄 (XX: 1-6) <sup>19-13</sup>
II. 任取のエ (i: 4-19)	6. 預言者と祭司の響 (30-31)	C. 高ぶりの警告 (15-17)	C. エリヤの「おかし」 (XX: 7-18) <sup>エリヤの響 6 17-18-19</sup>
A. エリヤの命 (i: 4-10)	E. 威嚇と警告 (vi)	D. 王と太后の嘆き (18-19)	XV. エリヤの託宣 (XXI-XXIII: 8)
B. あまんとりのエ (i: 11-12)	1. エリヤの自問 (1-8)	E. エリヤの恥 (20-27)	A. エリヤの使者の返事 (XXI: 1-10)
C. 煮え立つ鍋のエ (i: 13-16)	2. 民の全面腐敗 (9-15)	IX. 日照りその他の破局 (XIV-XV: 4)	B. エリヤの家 (XXI: 11-12)
D. エリヤへの奨励 (i: 17-19)	3. 古の道徳論 (16-21)	A. 日照り (XIV: 1-6)	C. エリヤに対する託宣 (XXI: 13-14)
III. 初期活動の託宣 (ii-vi)	4. 北の敵の恐怖 (22-26)	B. 罪のさげ (7-9)	D. 王宮と都 (XXII: 1-9)
A. イスラエルの不信 (ii)	5. 詩金石と預言者 (27-30)	C. チャウエの答 (10-12)	E. シムルに対する託宣 (XXII: 10-12)
1. チャウエと他神を取り替 (1-13)	IV. 祭壇の空しさ (vii-viii: 3)	D. 仮言者へのさげ (13-16)	F. エホヤキムに対する託宣 (XXII: 13-19)
2. 背教の結果 (14-19)	A. 神殿説教 (vii: 1-15)	E. 民の悪徳のイスラエルの嘆き (17-18)	G. エリヤの涙 (XXII: 20-23)
3. 罪の深さ (20-29)	B. 民をとりかへ (vii: 16-20)	F. 新エリヤの嘆き (19-22)	H. エホヤキムに対する託宣 (XXII: 24-30)
4. 懲らしめの無益さ (30-37)	C. 戦艦でなく道徳的服従 (vii: 21-28)	G. チャウエの最終的答 (xv: 1-4)	J. 回復と理想的支配 (XXIII: 1-8)
B. イスラエルの悔改めの訴え (iii-iv: 4)	D. ヒンム谷の罪深い儀式 (vii: 29-viii: 3)	X. エリヤの哀歌 (xv)	XVI. 預言者の託宣 (XXIII: 9-40)
1. 不信の裏イスラエル (iii: 1-5)	V. 雑 (viii: 4-x)	A. 国土破壊への哀歌 (5-9) <sup>エリヤの響 13</sup>	A. 國中の総体的響 (XXIII: 9-12)
2. イスラエルより悪いエタ (iii: 6-11)	A. イスラエル背教の不自然さ (viii: 4-7)	B. 自分への哀歌とチャウエの答 (10-21) <sup>13</sup>	B. エリヤの預言者の悪行 (XXIII: 13-15)
3. 神に立ち帰ることの恐ろし (iii: 12-14a)	B. 偽りの智慧主張 (viii: 8-13)	XI. 威嚇と約束 (xvi)	C. 仮言者の使信の性質 (XXIII: 16-22)
4. 捕囚帰国の予告 (iii: 14b-18)	C. 外国侵攻への絶望 (viii: 14-17)	A. エリヤの生涯の警告 (1-13)	D. 仮言者の「その夢」 (XXIII: 23-32)
5. イスラエルの不忠実 (iii: 19-20)	D. 打たれた民への同情 (viii: 18-ix: 1)	B. 誰か民帰国の約束 (14-15)	E. 主の霊荷に「その」説話 (XXIII: 33-40)
6. 真の悔改めへの恐ろし (iii: 21-iv: 4)	E. 民の裏切りへの嘆き (ix: 2-9)	C. イスラエルの不義への報復 (16-18)	XVII. 1155'のエ (XXIV)
C. 北の敵 (iv: 5-31)	F. エタ破壊への涙 (ix: 10-22)	D. 國々の回心 (19-21)	XVIII. エタへの要約的警告 (XXV: 1-14)
1. 警報 (iv: 5-8)	G. 誇りの唯一真実の根拠 (ix: 23-24)	XII. 雑 (xvii)	A. エタの打ち続く不従順 (XXV: 1-7)
2. 勇気喪失 (9-10)	H. 無創死者への刑罰 (ix: 25-26)	A. エタの「おかし」 (1-4)	B. <del>エタの打ち続く不従順</del> (XXV: 8-14)
3. さげの風 (11-12)	J. 偶像とチャウエの対比 (x: 1-16)	B. 対比の詩篇 (5-8)	XIX. チャウエの器の杯 (XXV: 15-38)
4. 悔改めへの恐ろし (13-18)	K. 破壊と捕囚の到来 (x: 17-22)	C. 知恵の言 (9-10)	A. 杯を飲むべき國々 (XXV: 15-29)
5. 預言者の受難 (19-22)	L. 自己矯正と外国報復との祈 (x: 23-25)	D. 不正の響の「おかし」 (11)	B. チャウエのさげの到来 (XXV: 30-38)
6. 宇宙破壊のエ (23-26)	VI. エリヤの生涯の事件 (xi-xii: 6)	E. 神殿の偉大さ (12)	XX. 宗教的指導者との衝突 (XXVI-XXIX)
7. 国土荒廢 (27-29)	A. エリヤと契約 (xi: 1-4)	F. 1155'の祈 (13)	A. 神殿説教とエリヤ逮捕 (XXVI)
8. 遊女を殺すもの (30-31) <sup>1114-21</sup>	B. 犠牲で回復される命 (xi: 15-17)	G. エリヤの嘆きと祈 (14-18) <sup>エリヤの響 4</sup>	1. 説教 (1-6)
D. イスラエルの罪深さ (v) <sup>121-6</sup>	C. エリヤ殺害の策謀 (xi: 18-xxii: 6)	H. 安息日遵守 (19-27)	2. エリヤの逮捕と審問 (7-19)
1. 義人捕しの失敗 (1-14) <sup>エリヤの響 2</sup>	VII. イスラエルと隣國 (xii: 7-17)	XIII. 比喻と謀略 (xviii)	3. エリヤの刑 (20-24)
2. 敵の束縛 (15-17)	A. イスラエル荒廢へのチャウエの嘆き (7-13)	A. 陶器師の比喻 (1-12)	B. バビロンの「おかし」 (XXVII-XXVIII)
3. 捕囚の説明 (18-19)	B. 隣國の捕囚と回復 (14-17)	B. イスラエルの罪の不自然さ (13-17)	1. 外国王への使信 (XXVII: 1-11)
4. チャウエの自然界の否定 (20-25)	VIII. 比喩と警告 (xiii)	C. エリヤへの謀略 (18-23) <sup>エリヤの響 6</sup>	2. エリヤ王への使信 (XXVII: 12-15)
		XIV. 象徴的演技と投獄 (XIX-XX)	3. 祭司と民への使信 (XXVII: 16-22)

4. ハナチとの衝突 (xxviii)	A. レバノンに酒を出す (1-5)	A. エジプトの革命に於ける最徴 (xliii: p-13)	D. ニネバの犯罪 (ii: 11-13)
C. バビロン捕囚民への手紙 (xxix)	B. レバノンへの断り (6-17)	B. エジプト人の吐責 (xliii: 1-14)	E. 血まみれの都への哀 (iii: 1-4)
1. 捕囚への一般的手紙 (1-23)	C. 約束 (18-19)	C. エジプト人の反応 (xliii: 15-19)	F. 陥落 (iii: 5-19)
2. シマヤクツの手紙 (24-32)	XXVII. エリサの予言の2巻 (xxxvi)	D. エジプト人の吐責 (xliii: 20-28)	
XXI. 叙文の巻 (xxx-xxxii)	A. バビロンへの口授 (1-7)	E. 巴比ロンに於けるエリサ (xliii: 29-30)	ハバク書校注 (C. L. Taylor, Jr.)
A. 序文 (xxx: 1-3)	B. 神殿への朗読 (8-10)	XXXII. バビロンへの託宣 (xliv)	
B. 主の日の恐怖 (xxx: 4-9)	C. 葬祭の前への朗読 (11-19)	XXXIII. 外国に対する託宣 (xlv-11)	I. 主は神は最善の正に神する (i: 1-17)
C. イスラエルの救い (xxx: 10-11)	D. エホヤキンの前への朗読 (20-26)	A. 巻頭 (xlv: 1)	A. 巻頭 (1: 1)
D. シオンの叫び (xxx: 12-17)	E. 第2巻 (27-36)	B. エジプトに対する託宣 (xlv: 2-28)	B. 質向のメシヤ (i: 2-4)
E. 王の運命回復 (xxx: 18-22)	XXVIII. エリサの包圍と陥落 (xxxvii-xl: 6)	1. カルテシの救い (2-12)	C. 荒れに息を吐く (i: 5-11)
F. 王の死 (xxx: 23-28)	A. エリサの包圍 (xxxvii)	2. 王の死 (13-26)	D. 質向のメシヤ (i: 12-17)
G. 王の死の復讐 (xxx: 29-34)	1. 編纂上の序文 (1-2)	3. イスラエルの救い (27-28)	II. 義人は信仰に於て生きる (ii)
H. 王の死の捕囚 (xxx: 35-40)	2. カルテシの再興 (3-10)	C. エリサに対する託宣 (xlvii)	A. 塔の答 (1-4)
I. 王の死の復讐 (xxx: 41-46)	3. エリサの捕囚と投獄 (11-15)	D. エホヤキンに対する託宣 (xlviii)	B. のびのびの序文 (5-62)
J. エホヤキンの回復 (xxx: 47-52)	4. エホヤキンとの密会 (16-21)	E. エホヤキンに対する託宣 (xlix: 1-6)	C. 専制暴君の自業自得の破滅 (66-20)
K. エホヤキンの回復 (xxx: 53-58)	B. 降伏の勸め (xxxviii)	F. エホヤキンに対する託宣 (xlix: 7-22)	1. 王の答 (66-8)
L. イスラエルとエホヤキンの回復 (xxx: 59-64)	1. 洗心盆の救出 (1-13)	G. 王の死に対する託宣 (xlix: 23-27)	2. 王の答 (9-11)
M. 個々の報復 (xxx: 65-70)	2. エホヤキンとの最後の会見 (14-28)	H. エホヤキンに対する託宣 (xlix: 28-33)	3. 王の答 (12-14, 17)
N. 新しい契約 (xxx: 71-76)	C. バビロン、エリサの復讐 (xxxix: 1-14)	J. エホヤキンに対する託宣 (xlix: 34-39)	4. 王の答 (15-16)
O. イスラエルの永続 (xxx: 77-82)	D. エホヤキンに対する託宣 (xxxix: 15-18)	K. バビロンに対する託宣 (1-11)	5. 王の答 (18-20)
P. エリサの再建 (xxx: 83-90)	E. エリサの解放 (xl: 1-6)	XXXIV. 歴史的付録 (lii)	III. さし歌 (lii)
XXII. パテテの火の焼入 (xxxii)	XXIX. ケダリヤの統治と暗殺 (xli: 7-xli)	A. エホヤキン治世の専約 (1-3)	A. 巻頭 (1)
A. 王の命令 (1-8)	A. ケダリヤの約束 (xli: 7-10)	B. エリサの包圍と陥落 (4-27)	B. 序文 (2)
B. 焼入手続 (9-15)	B. 逃亡者のエホヤキン (xli: 11-12)	C. 三回の捕囚 (28-30)	C. 神蹟 (3-15)
C. エリサの祈 (16-25)	C. ケダリヤへの警告 (xli: 13-16)	D. エホヤキンの解放 (31-34)	D. 世境のさし歌 (16-19)
D. 王の答 (26-44)	D. ケダリヤ暗殺 (xli: 17-21)		
XXIII. 回復の約束 (xxxiii)	E. 70人血礼者暗殺 (xli: 22-26)	ナホム書校注 (C. L. Taylor, Jr. 米神 学協会発行書記)	ナホム書校注 (C. L. Taylor, Jr.)
A. エリサの再建 (1-9)	F. エホヤキン捕獲 (xli: 27)		
B. 王の答 (10-11)	G. 捕囚の救出 (xli: 28-30)		
C. 回復の回復 (12-13)	XXX. エジプト逃避行 (xlii-xliii: 7)	I. 10人の歌 (i: 1-9)	I. エリサへのさし歌 (i)
D. エホヤキンの王と王の答 (14-26)	A. エリサへの相談 (xlii: 1-6)	II. 縁注 (i: 10, 12, 13, 15, ii: 2)	A. 巻頭 (1), B. 破滅の暗殺 (2-6), C. 王の答 (7), D. 葬祭への朗読 (8-9), E. エリサへの勸め (10-11), F. 無頼 者の運命 (12-13), G. 主の日 (14-16), H. 世界裁判 (17-18)
XXIV. エホヤキンへの警告 (xxxiv: 1-7)	B. 王の答 (xlii: 7-22)	III. 長い詩 (i: 11-iii: 19)	II. 個々のさし歌 (ii) 1-3, 4-7, 8-12, 13-14, 15
XXV. 約束の破滅 (xxxiv: 8-22)	C. 王の反応 (xliii: 1-3)	A. ニネバの罪と罰 (i: 11, 14)	III. 破滅と約束 (iii) 1-5, 6-7, 8, 9-10, 11-13, 14-20
A. 所有主の行為 (xxxiv: 8-12)	D. エジプトへの逃亡 (xliii: 4-7)	B. 攻撃 (ii: 1-5)	
B. エリサの吐責 (xxxiv: 13-22)	XXXI. エジプトに於けるエリサ (xliii: 8-xliiv)	C. 逃亡と占領 (ii: 6-10)	
XXVI. レバノンへの復讐 (xxxv)			

エリシ中書

I. 特色:

1. 「エリシ中」への言及が多い (外部の証書)

在り xxxv: 25, xxxvi: 12, 21, 22 ; 2' 2' 2' ix: 2

エリシ 1: 26, 30, 45, 54, ii: 1, ix: 34

エリシ xlix: 6

エリシの手紙 巻題

エリシの手紙 ii: 1, 5, 7, xv: 14, 15

lxx. 聖教巻題

2. 文書の種類が多岐にわたる

xxv: 13 「この書」

xxix: 1 「手紙」, 31

xxx: 2 「書翰」

xxxvi: 2, 4, 在り「巻物」, 32 「他の巻物」

xlv: 1 「書」

cf. xxxii: 10-14 (証書, 封印, 手紙, 土着保存)

3. 日付が多い

i: 2 エリシの治世の13年

ii: 6 エリシの治世の時

xxvi: 1 エリシの子エリシの治世の初年

xxvii: 11 エリシの子エリシの治世の11年

18 エリシの子エリシの治世の18年

14 エリシの治世の14年

18 エリシの治世の時

xxv: 1 エリシの子エリシの治世の4年

3 エリシの13年

xxxv: 1 エリシの子エリシの治世の時

xxxvi: 1 エリシの子エリシの治世の4年

xlv: 1 エリシの子エリシの治世の時

xxiv: 1 エリシの治世の時

8 エリシの治世の時

xxix: 1 エリシの治世の時

xxvii: 1 エリシの治世の時

xxviii: 1 エリシの治世の時

17 エリシの治世の時

li: 59 エリシの治世の時

xxxvii: 1 エリシの治世の時

4 エリシの治世の時

15 エリシの治世の時

xxxii: 1 エリシの治世の時

xxxiii: 1 エリシの治世の時

xxxviii: 13 エリシの治世の時

xxxix: 15 エリシの治世の時

2 エリシの治世の時

14 エリシの治世の時

(エリシの治世の時)

4. 文書の種類が多岐にわたる

信託の 散文 xx, xxi

祈禱 xi: 18-20, xii: 1-4, xv: 15-18

嘆息 xv: 10-12

預言の 散文 ii

散文の 説教 vii

5. 本文の多岐性

- (1) LXX
- ① 17" 記録 M.T. の 2900 活字欠
  - ② 17" 1/8 活字 (6-7 章分)
  - ③ 17" 記録 M.T. の 100 活字 18E E 含む
  - ④ 活字の α 活字 (xlvii ~ li) の xxv: 13 の 活字 45 活字
  - ⑤ 活字の α 活字 α 活字 の 順序 表 (表)

M.T.	LXX.
xxv: 1-13	xxv: 1-13
xxv: 15-	xxxii
xxvi - xxvii: 19	xxxiii ~ xxxiv
xxviii: 20-22	—
xxviii ~ xxxii	xxxv - xxxix
xxxiii: 1-13	xl
xxxiii: 14-26	—
xxxiv - xxxviii	xli - xlv
xxxix: 1-2	xlvi
xxxix: 3-14	—
xl - xliii	xlvi - l
xliii	li: 1-30
xlv	li: 31-
xlvi	xxvi
xlvii	xxix: 1-7
xlviii: 1-44	xxxi
xlviii: 45-47	—
xlix: 1-6	xxx: 1-6
7-22	xxix: 8-
23-27	} xxx
28-33	
34-39	
(~ li	
li	xxv: 15-
	xxvii - xxviii
	lii

- (2) 17" 記録 M.T. の 2900 活字欠  
 (3) 21" 記録 M.T. の 100 活字 18E E 含む

M.T.	LXX.	重訂
viii: 10a-12	(vi: 12-15)	xxv: 4 (vii: 25-26)
viii: 15	(xiv: 9)	xxx: 23-24 (xxiii: 19-20)
ix: 9	(v: 9)	xxxviii: 2 (xxi: 9)
x: 12-16	(li: 15-19)	xlvi: 27-28 (xxx: 10-11)
xv: 13-14	(xvii: 3-4)	xlix: 17 (lix: 8)
xx: 12	(xi: 20)	19-21 (l: 44-46)
xvi: 14-15	(xxiii: 7-8)	22 (xlviii: 40-41)
xxiii: 5-6	(xxxiii: 15-16)	26 (l: 30)

6. 重訂 (vii) の存在

xxxii: 12. xxxvi, xliii: 3. xlv  
 viii: 重訂

7. 付録 (lii)

li: 64 活字 唯一  
 LXX. の 活字 2 枚 (ii) の xlvii ~ li の 活字 記号 活字 と 同 別  
 正下 xxiv: 18 ~ xxxv: 30 と 重訂 (xxxix) の 第一 資料 あり  
 lii: 28 ~ 30 活字. 別 資料 あり  
 「LXX」 の 活字 2 枚 あり. (正下 xxxvi ~ xxxix と 同 別 活字)

8. LXX の 活字. LXX の 下 活字. 活字 不 確 (viii: 重訂) (xliii: 6-7)

II. 比較的早く東京版で出版された証拠

1. 「70章」補完部 (xxv: 11-12, xxix: 10) が中2部で再建の時と2部で再建 (v: 21, ix: 2, x: 1, xi: 12, vii: 5, 統計: xxxvi: 21). (p. 519)
2. 列王記 xxv: 29 等. 同部完成の時期に補完中. 列王記と一致. 統計: vii: 31-34 等. (工本が少く統計, BC 562)
3. 工本中命書より文化 (xxix: 1, 31, xxx: 2, xxxvi: 32, xlv: 1, li: 5)
4. 帯記にのびる存在. 工本が同一行  
 太字. とは太字. 工本が. びる. 他が同時代で再建. 工本が. 工本が. 工本が.

III. 工本中の研究

1. Bernard Dahm: Das Buch Jeremia, 1901 伝記  
 ① 3: 2 等 12 章の論文で「工本」の存在を論じている  
 ⇒ 工本存在  
 ② 工本存在 論文. 3 人称 = 1 人称  
 ③ 補完部と補完部 (Jeremiasist) が. 統計に及ぶ. 工本存在  
 ⇒ 工本存在
2. Sigmund Mowinkel: Zur Komposition des Buches Jeremia, 1914.  
 ① A = 工本中の論文 (論文), BC 605 の巻物 (xxxvi) 工本中  
 ② B = 論文の巻物 工本中  
 ③ C = 単個の巻物 (命書) (A, B の巻物) 工本中  
 (工本中) 多  
 ④ xlv - li の工本に xlv 等 5 章 6 章 7 章 8 章 9 章 10 章 11 章 12 章 13 章 14 章 15 章 16 章 17 章 18 章 19 章 20 章 21 章 22 章 23 章 24 章 25 章 26 章 27 章 28 章 29 章 30 章 31 章 32 章 33 章 34 章 35 章 36 章 37 章 38 章 39 章 40 章 41 章 42 章 43 章 44 章 45 章 46 章 47 章 48 章 49 章 50 章 51 章 52 章 53 章 54 章 55 章 56 章 57 章 58 章 59 章 60 章 61 章 62 章 63 章 64 章 65 章 66 章 67 章 68 章 69 章 70 章 71 章 72 章 73 章 74 章 75 章 76 章 77 章 78 章 79 章 80 章 81 章 82 章 83 章 84 章 85 章 86 章 87 章 88 章 89 章 90 章 91 章 92 章 93 章 94 章 95 章 96 章 97 章 98 章 99 章 100 章

- A sm 2 部 ii: 2-3, 4-5, iv: 5-6 (i - xxv 工本)
- B xxvi - xxix, xxxiv - xlv 工本 (工本. 工本. 工本)
- C xi: 1-17, vii: 2-15, xvi: 1-13, 14-18.  
 xviii: 1-12, xix: 1-13, xxvii, xxxix: 16-20,  
 xxxi: 27-34, 38-40, xxxiii, xxxiv: 12-22,  
 xxxv: 12-17 (工本中の工本) 工本

IV. Mowinkel の B と C の存在: 再検討

1. 工本中の工本 (工本)
- ① 工本中の工本 (工本) 工本  
 i: 4, ii: 13, iii: 1, xiii: 3, 8, xvi: 1, xxiv: 4,  
 xxxii: 6
- ② 工本中の工本 (工本)  
 i: 7, 9, 12, 14, iii: 6, 11, xi: 6, 9, xiii: 1, xiv: 11,  
 14, xv: 1, xvii: 19, xviii: 5, xxiv: 3, xxv: 15, xxvii: 1
- ③ 工本中の工本 (工本)  
 xxiv: 1
- ④ 工本中の工本 (工本)  
 xix: 14
- ⑤ 工本中の工本 (工本) 工本  
 vii: 1, xi: 1, xiv: 1, xviii: 1, xxi: 2, xxv: 1, xxvii: 1,  
 xxviii: 12, xxxix: 30, xxx: 1, xxxii: 1, 26 (16 工本  
 工本中の工本), xxxiii: 1, 19, 23, xxxiv: 1, 8,  
 12, xxxv: 1 (3 工本中の工本), 12, xxxvi: 1, 27,  
 xxxvii: 6, xxxix: 15, xl: 1, xlii: 7, xliii: 8, xlv: 1,  
 13, xlvii: 1, xlviii: 34
- ⑥ 工本中の工本 (工本)  
 xxvi: 1



6. ECTP と申命記学 (Dtr.)

① ECTP は申命記学 (Dtr.) の本質 (Zw.)

iii: 1 (申 xxiv: 1-4), iv: 4 (申 x: 16, xxx: 4)

xxxiv: 13-14 (申 xv: 12, 去 xxi: 2)

② ECTP の文法・用語は Dtr. の存在を示し、申命記学 論に  
Zw. の 1-6 の文法用語のリスト (Oesterley, Bright,  
Harrison, J. A. Thompson) (Robinson, 1934)

J. Bright: The Date of the Prose Sources of Jeremiah, JBL  
lxx, 1951. pp. 15-35 (J. A. Thompson, p. 45)

56 巻の 35 [23] は申の 25

} } は申の 25 は Dtr. の 12 巻に  
示され、その大部分は初期の作で、

申命記の特色 (S. R. Driver: LOTH 2) は ECTP の  
特色を示す

ECTP と Dtr. 散文の範囲の 33 巻の 5, 6 回以上は  
申命記の特色を示すのは 15 巻。12 巻は 1 巻  
反的の 1 巻。大部分は初期の作である。ECTP の  
巻が多。

27 は ECTP の散文・詩文の両方にある

「要約すれば、ECTP の散文と申命記の散文との間に深甚な類似性  
が見られ、類似性は件件同じ位の不連続である。この  
点からして、ECTP の散文は申命記の散文と類似した  
文法である。その確證は後述のとおり。申命記、申命記の  
「史、ECTP の散文は 5 巻の 2 巻にわたる 7 巻半と 6 巻半の  
世紀の修辭的散文の例とみられる」 (Thompson, 45-46)。

③ Talmon: Baba Batra 14 「ECTP は、11 巻、切取、10 巻  
高教に属する」—— ECTP と 11 巻の類似性は後述  
のとおり。121. 5 巻と Dtr. とは違ふ。

④ 8 巻 Dtr. は ECTP の 27 巻に ECTP の 27 巻の 27 巻?

V. ECTP の編集

1. ECTP は詩文と散文と混在した体 (17 x xv: 25, ECTP xxix: 1)  
xxxii: 10-11

2. 11 巻は ECTP の 12 巻の 1 巻に属する (17 巻  
11 巻)

3. 11 巻は ECTP の 12 巻の 1 巻に属する。12 巻は ECTP の 12 巻の  
11 巻に属する

20 (11 巻)  
xxvi: 16 (2 巻の 1 巻に属する), 24 (17 巻), xxxvi: 12, 19, 20,  
25 (27 巻, 17 巻, ECTP の 17 巻に属する), xxxviii: 7 (27 巻  
17 巻), xl: 6 (17 巻)

(17 巻) ECTP の 12 巻に属する。ECTP の 12 巻は ECTP の 12 巻の 11 巻に属する。  
2 巻、11 巻は 11 巻の 1 巻に属する。11 巻は 11 巻の 1 巻に属する。

(17 巻) ECTP の 12 巻に属する。12 巻は 12 巻の 20-23。

4. 11 巻は 11 巻の 1 巻に属する。11 巻は 11 巻の 1 巻に属する。

5. 編集は 11 巻の 1 巻に属する。11 巻の 1 巻は 11 巻の 1 巻に属する。  
原書 LXX 11 MT の 1 巻は 11 巻の 1 巻に属する。11 巻の 1 巻は 11 巻の 1 巻に属する。  
LXX の 1 巻は 11 巻の 1 巻に属する。11 巻の 1 巻は 11 巻の 1 巻に属する。  
xxxiii: 14-26

6. 11 巻の構成 (Fahner)

① LXX. i: 1-xxv: 14 2 巻と 21 巻に属する  
xxv: 15-38. x/vi-11 17 巻に属する  
xxvi-xxxv 12 巻と 2 巻に属する  
xxxvi-x/v 11 巻の文法と 11 巻の文法部分  
11 巻 11 巻

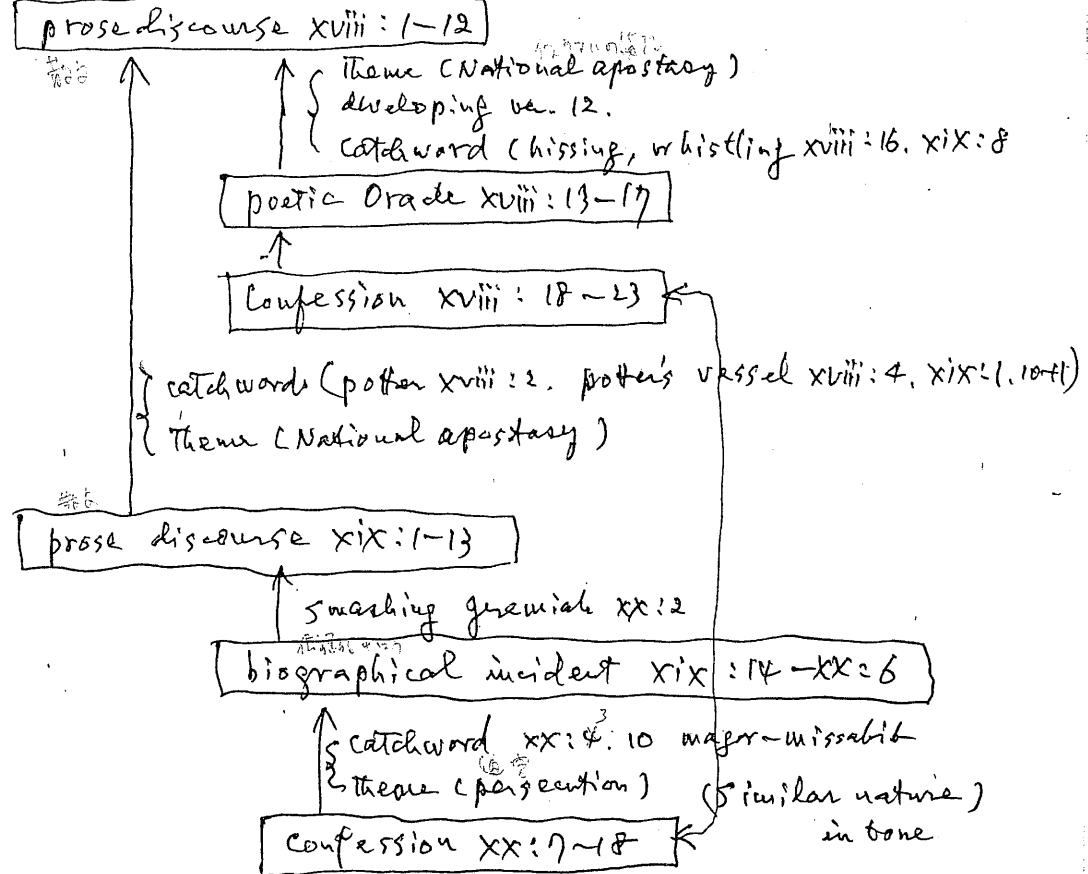
② MT. i-xxv 2 巻と 21 巻に属する  
xxvi-xxxv 12 巻と 2 巻に属する  
xxxvi-x/v 11 巻の文法と 11 巻の文法部分  
x/vi-11 17 巻に属する  
11 巻 11 巻

9. 浮白伝書. 浮白書白, 散文伝書, 伝書, 浮白伝書 在... 伝書 (口/文) の... 契機... 契機...

契機  
契機  
契機

契機... 契機...

10. Bright a 契機... (xviii ~ xx 伝書 ABC a 組合せ)



8. 浮白伝書. 浮白伝書, 散文伝書, 伝書, 浮白伝書 在... 伝書 (口/文) の... 契機... 契機...

9. xxxix: 15-18 伝書... xxxviii: 7-13 伝書... x(v) (伝書) 伝書... 契機... 契機...

- 伝書: 11 (伝書) 伝書... 契機... 契機... 契機... 契機... 契機... 契機... 契機... 契機... 契機...

10. xxxvi: 32 伝書. BC 605 年の... 契機... 契機... 契機...

Folger a 契機... 契機... 契機...

- a). Invectives: ii: 19-22, 29-30, iii: 2-5, vii: 24-28, ix: 7-8
- b). Threats: ii: 23-37, iv: 9-12, 27-28, v: 10-11, 12-17, 26-29, vi: 1-3, 6-9, 12, 18-19, vii: 29, viii: 3, viii: 8-17, ix: 25-26, xi: 15-17, xiii: 20-22, 24, 25-27, xv: 3-4, 11-14, xviii: 19-17, xxii: 11-12, xxiii: 19-20
- c). Laments: ix: 19, x: 17-20, xii: 7-13, xiii: 17
- d). Exhortations: v: 18-25, XXI: 11-12
- e). Promises: iii: 14-18, xii: 14-17, xvi: 14-15, 19-21, xxiii: 3-8, xxx: 8-11, 16-24, xxxi: 7-14, 23-30, 38-40, xxxii: 16-44, xxxiii: 1-13, 14-26
- f). Apocalyptic: iv: 23-26
- g). Didactic material & commentary: ix: 11-14, xvi: 10-13, xvii: 19-27, xxii: 8-9, xxiii: 23-24, 33-40
- h). Wisdom: ix: 23-24, x: 1-15, xvii: 5-13, xxiii: 18
- i). Oracles against foreign nations: ~~xxiii: 18~~ \* xvi: 13-15, li: 58

(下... 契機... 契機... 契機... 契機... 契機... 契機... 契機... 契機... 契機...)